

1. 現在の3年生の進路状況（12月23日現在）

就職においては9月16日より就職試験が解禁され、本校からも多くの生徒が各企業に赴き挑戦してきました。また、進学においても総合型選抜や推薦型選抜などが実施され、各校の受験を終えた生徒も増えてきました。現在までに分かっている進路状況を以下にまとめました。

- ・就職希望者：47名の生徒が内定をもらいました。
- ・公務員志望：1次試験、2次試験を終え、9名の生徒の内定が決まっています。
- ・進学希望者：総合型選抜や推薦型選抜により合格が決まっている生徒は、国公立大学2名、私立大学20名、短期大学9名、専門学校23名、職業能力開発施設6名です。

2. 進路指導部の取り組み

2学期に進路指導部で計画・実施した様々なイベントの中で、主だったものを紹介します。

①第2回2学年進路ガイダンス(9/10)、第1回1学年進路ガイダンス(9/17)

進路の選択肢を広げることを目的に、県内外の企業や学校に来校してもらい、説明会を実施しました。2学年は有限会社シンプルタスクの吉井雅之氏より、今から備えるべきことに関する全体講話を聴講し、その後は5社の企業と17校の学校の中から関心の高い分野2つに関してガイダンスを受けました。1学年も同様に株式会社さんぼうの専任講師大坂彰子氏による全体講話後に、7社の企業と30校の学校の中から2つ選び説明を受けました。2学年は次年度の進路決定に向けた一助となり、1学年も進学先や就職先を選択するための判断材料を増やすことができ、進路選択への理解を深めることができました。



②公務員講習および公務員模試

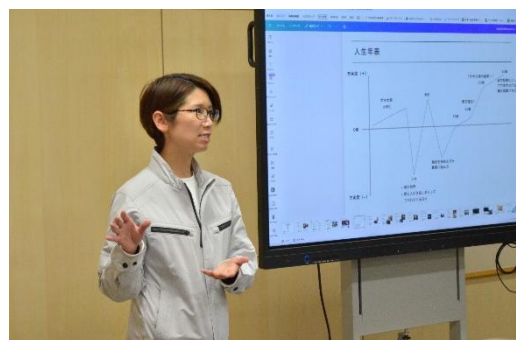
本校では公務員を希望する生徒の基礎学力向上のため、公務員講習を実施しています。また、2学年の希望生徒を対象とした大原学園の公務員模試も実施しました。本番形式の問題に慣れさせると同時に、現時点の実力を把握することで、受験に向けた意識付けの一助となりました。

③先輩と語る会(9/5)

大学に進学した本校の先輩方から、大学での学びや生活、高校時代の苦労話などを聴くことで、自らの考えや生活を見直すことを目的とした「先輩と語る会」を実施し、青森公立大学や弘前医療福祉大学、弘前大学に進学した3名の先輩にこれまでの経験を伝えてもらいました。目線の近い現役大学生の先輩方の実体験は参考となる部分も多く、今後の学校生活への姿勢を見直す契機となりました。

④第3回および第4回社長と語る会(9/10、12/16)

1学期に引き続き、各業界で活躍する方と進路や人生について語り合うことで、将来を深く考える契機とすることを目的とした「社長と語る会」を開催しました。第3回は株式会社和光の勝川由康氏、株式会社小滝建設工業の小滝剛司氏、株式会社富洋組の近藤雅幸氏の3名を講師に招きシンポジウムを実施し、第4回は建設業を本気で良くする株式会社の黒田実緒氏を講師に招き講話をしていただきました。会社を経営する社長としての立場からの知見のみならず、質疑応答ではこれまでの苦労話や今後心掛けるべき点、金銭面に関するものまで様々な内容を伝えてくださり、今後の人生を豊かにできる「気づき」を得られる貴重な機会となりました。



3. 充実した冬季休業とするために

○3 学年

・ 学校生活への姿勢を見直す

就職・進学において多くの人が内定や合格をいただき、胸をなでおろしていることでしょう。ですが、それで気が緩み1学期より成績を落とした人も多いのではないのでしょうか。内定や合格はあくまでその企業や学校に通う資格を得ただけにすぎません。部活動で言えば大会へのエントリーが済んだだけであり、気を緩ませて大会まで何も練習しなくてもよいのでしょうか。学生の本分は学業です。それを疎かにして成績を大きく下げた人は今一度学校生活に取り組む姿勢を考えてみてください。加えて、自分たちが合格したからといって、配慮を欠いた言動で他の生徒の足を引っ張ることのないよう、相手に寄り添った行動を心掛けましょう。その思いを汲んで、一般入試を控えている人や内定・合格が未定の人は妥協や緩みなく追い込みをかけてください。「あの問題が解けていれば」や「あの質問にこう答えていれば」など、あと一步のところまで結果を掴み取れなければ悔やんでも悔やみきれません。後で悔やむと書いて後悔と読みますが、そうならないよう、残された時間を有意義に活用してください。

○1、2 学年

・ 反省と改善

何事も中間期は気が緩みがちになり、3年間の2年目や3学期中の2学期などは、中だるみの時期ともいわれます。実際に1学期や1年目と比較して成績を落とした生徒も多いのではないのでしょうか。この一年を最良の形で終わらせるには、今回の反省を踏まえた改善が不可欠です。冬季休業を活用し、学習が不足している点を見直して対策していくとともに、年明けの3学期で挽回できるよう、休業中の生活を考えましょう。大切なことはやるかやらないかです。2学期の取り組みの反省を踏まえてやるべき改善点を考えて、それをやりきることを期待します。また、受験報告会を通して3学年の先輩方から伝えられた内容も今後の進路を考えるうえで大きな参考になったかと思います。それらを踏まえ冬季休業中に保護者と進路について意見を交わし、次年度を見据えた行動に役立てていきましょう。